【記入例】

扶　　養　　申　　立　　書

令和○年○月○日

公立学校共済組合福岡支部長　殿

福

岡

組合員氏名　福　岡　太　郎

被扶養者　福　岡　弟　郎　について下記のとおり申し立てます。

扶養しなければならない理由（具体的に）

　弟郎は平成〇年〇月に△△大学を卒業し、○○商事株式会社に就職しましたが、令和〇年〇月○日付で一身上の都合で退社しました。その後３か月間は雇用保険（日額３，８００円）を受給し、同年〇月〇日で雇用保険も終了しました。雇用保険受給中は国民健康保険に加入していましたが、〇月〇日以後は収入もなく現在に至っています。本来は両親が扶養するべきでありますが、父は昭和〇年に死亡し、母は父の遺族年金８０万円を受けており私の被扶養者になっています。又、長兄は東京在住であり、送金等も一切行っておらず、弟を扶養できないため、同居の私が扶養することになりましたので、別紙扶養協議書を添えて申立てます。

※　配偶者は被扶養者で　ある　・　ない　　（該当するものに○を附すること）

今までに加入していた健康保険名

保険者名　○○市国民健康保険　記号○○番号　○○○○○

資格喪失年月日　令和〇年〇月〇日

被扶養者の所得に関する事項（該当するものに○を附すること）

年　　金　　　なし・あり（年額　　　　　　　円）別添写しのとおりです

雇用保険　　　なし・あり（給付日額　　　　　円）別添受給資格者証の写しのとおりです

傷病手当金　　なし・あり（給付月額　　　　　円）別添写しのとおりです

その他の収入　なし・あり（　　　 　　　 円）別添就職等申立書のとおりです